

# 神奈川県石川ひろのり

## 県議会レポート 2022 特別号

住み続けたい街  
麻生区のために

石川ひろのり事務所  
〒215-0011 川崎市麻生区百合丘1-5-4 米山ビル202  
TEL 044-455-6611 FAX 044-455-6614

県議会控室  
〒231-8588 横浜市中区日本大通1 神奈川県庁新庁舎7階  
TEL 045-210-7650 FAX 045-210-8933

<http://www.hiro-ishikawa.jp/>  石川ひろのり 

本当に神奈川県は住みやすいのか  
あなたの納めた税金を  
「生まれて・育って・住んで良かった」  
誇りある神奈川県に。  
今日より明日はきっといいことがある。  
住み続けたい神奈川県を目指して。



## 今後の新型コロナウイルス感染症対策についてなど質疑 石川ひろのり 予算委員会に登壇

### 主な質問

#### 今後の新型コロナ対策について

**石川** 2年以上にわたる長期間、新型コロナ感染症対策を行っている。これまでの医療体制などについて、どのような形で振り返り、整理・分析につなげているのか。また、今後より効果的で迅速な体制を整えるためにこれまでの総括が必要と考える。

**健康医療課長** これまで医師会や病院協会など関係団体と連携調整し、さまざまな医療体制「かながわモデル」を発信してきた。振り返り、分析、検討についてはこのような関係団体等の意見を伺いながら内容をさらに発展していく。また、これまでの効果検証を行うとともに、その時点で流行している新型コロナの変異株の特徴を捉え対応していく。

**石川** 現在の感染者数に対応するだけでなく、先を見据えた方針が必要と考える。また、さらにその先の今後新たな感染症に対する基本計画を作成し、次の大きな波を見据えた対応をしていく必要と緊急時には即時に対応できる体制構築の検討が必要と考える。

**知事** この1年間、県では変異を続け感染爆発を起こしてきた感染症に対し、時々の変異株の特性に応じて命を守る戦いを続けてきた。第5波では園児・児童等のいる家庭への抗原検査キットの配布、第6波では、自主療養の仕組みなどを構築した。今後もこれまでのさまざまな経験により構築された「かながわモデル」をしっかりと運用していく。感染症に対する基本計画については、次期保健医療計画は新興感染症を念頭に置いた医療機関の役割分担、医療人材の育成などを盛り込んでいく必要がある。さらに、緊急時にはすぐに対応できるよう民間の力を借り、迅速、柔軟に対応できる体制の構築を進めていく。

**石川** 医療体制の構築は今後の経済を回していく中でとても重要である。しかし、これまでのまん延防止措置内容が本当に感染拡大防止につながっていたのか。この措置を出さなかった県と比較するなど、しっかりと実態や費用対効果を検証し今後活かすよう要望する。



#### ポストコロナを見据えた 経済施策観光業支援について

**石川** 観光施策について議論を重ねてきた中で、県当局から、観光業は裾野が広く、本県経済において重要な役割を担うことが期待されている旨の報告を何度も伺った。今回、長引く新型コロナ対応で、裾野が広いと言われる観光業では、どのような業種でどのような影響が出ているのか。

**観光課長** 代表的な宿泊業と旅行業で報告させて頂く。国の調査によると宿泊業において本県の延べ宿泊数は、コロナ禍前の令和元年は約2,400万人だったが、令和3年は約1,500万人と概ね4割減となっている。旅行業については、主要旅行業者の旅行取扱状況年度総計によると、全国ベースの取扱額は令和元年度は約4兆6千億円、令和2年度は約1兆円となっており約8割減となっている。

**石川** オリンピックの無観客、新型コロナ対応の長期化の影響など、かながわブランドデザインの当初指標の数値に達しないことが推測される。これまでの観光施策をどのように整理し、総括しているのか。また、観光業の支援、経済のエンジンを回すための質を上げる観光施策が必要と考える。

**国際文化観光局長** 観光振興計画において観光消費額総額を最も重要な指標として位置付けてきた。コロナ禍で令和2年度は目標の5割程度となっているが、令和元年度はほぼ目標を達成していることから、観光の質と量ともに充実させるという方針は適切であったと考える。そして、コロナ禍で観光の量の本格的な回復を見通せない中では、これまで以上に質の向上に取り組む必要がある。そこで令和4年度当初予算案では、高付加価値コンテンツ開発の推進や観光客受け入れ環境整備事業の拡充など観光の質の更なる向上に取り組むこととしている。また令和4年度新たな観光振興計画策定を予定しており、観光の質の向上のさらなる検討を深め地域経済の活性化につなげていく。

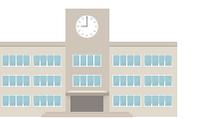
#### 県立学校施設再整備計画 (新まなびや計画)の現状について

**石川** 新まなびや計画は費用が概ね1,500億円、12ヶ年の長期にわたる計画であるにもかかわらず、期間途中の見直しを検討する旨の記載がない。7年目となる時点で費用は1,170億円とのことだが、残り5年で330億円との計算となる。今後の事業計画との整合性をどのように整理しているのか。

**学校施設課長** 新まなびや計画は平成28年度から令和9年度までの3期12年間の計画である。計画の中で優先して取り組んでいる耐震対策やトイレ洋式化などの環境改善については、令和5年度までに完了する計画としている。耐震対策は老朽化対策とセットで行うこととしているほか、仮設校舎の設置費用も必要となり、計画後半(令和6年度以降)に行う体育館や武道場など総合的な老朽化対策よりも工事費が高くなる。そのため、執行額も計画前半が多くなると認識している。

**石川** 計画後半(令和6年度以降)に体育館や武道場などの耐震化対策を行うとのことだが、生徒にとって校舎の安全性はもちろん、学習環境はとても大切である。また、教職員の職場環境整備という観点からも同様である。改めて、新まなびや計画の折り返しの年となるが、教育長の計画に対する所見を伺う。

**教育長** 県立学校は昭和40年代後半からの高校100校新設計画により建設された学校、校舎が多いことから、耐震基準が強化された昭和56年以前の建物が多く、これまで耐震対策が大きな課題であった。教育委員会では耐震対策を最優先課題と位置づけ整備に取り組んできており、令和5年度までには概ね完了する見込みとなっている。令和6年度からの総合的な老朽化対策を含め、引き続き、児童生徒、教職員の安全で良好な学習環境、職場環境の確保を行い、新まなびや計画の着実な推進を進めていく。



その他、「ポストコロナを見据えた経済施策農畜水産業支援」「再委託等の透明性の向上に向けた取組」についてなど質疑を行いました。



# 過去最大の2兆3,448億円で令和4年度一般会計予算成立

神奈川県議会は2月10日から3月25日（44日間）まで、令和4年第1回定例会が開催され、併せて新型コロナ対策補正予算も審議されました。昨秋、約850億円の財源不足が見込まれるとして、本県財政は危機的な状況にあるとされました。しかし、県税や地方交付税の増により、今後の備えとして、これまで取り崩しが続いていた財政調整基金の残高を620億円まで回復することができました。

## 新型コロナ対策

県内の医療崩壊を防ぎ、県民の命を守るため、ワクチン追加接種の実施など感染拡大防止対策や医療提供体制「神奈川モデル」の維持に取り組みます。また、県民の暮らしを守るため、制度融資やビジネスモデル転換事業への補助等の事業継続に向けた支援や感染状況に応じた需要喚起対策の実施など、県内経済の回復に向けた対策を行います。

【予算総額3,912億9,899万円】

### 感染拡大防止対策

- 新型コロナワクチンの接種促進
- マスク飲食実施店認証制度の運用
- 市町村への支援



### 医療提供体制の維持

- 病床の確保（2,800床）
- 宿泊療養施設の運営（約3,800室）
- 検査体制の維持、相談窓口の運営



宿泊療養施設

## コロナ禍における生活困窮者対策

長期にわたるコロナ禍は、県民生活に大きな影響を及ぼし、特に「子ども」や「女性」、「孤独・孤立に陥っている方」への影響が顕在化しています。こうした生活困窮者の支援のために、SDGsの理念のもと、公助の取り組みを一層推進するとともに、NPOや企業と連携した共助の取組を推進し、重層的なサポートを実施します。

【予算額6億9,233万円】

子どもへの支援 4,365万円	●子ども食堂への支援 ●県立高校での朝夕食の提供等（朝4校、夕14校）
女性への支援 1億6,610万円	●女性総合相談や訪問支援等の体制強化 ●全県立学校に生理用品を配備
孤独・孤立に陥っている方への支援 4億7,456万円	●ひきこもり当事者やケアリーバーへの支援体制の強化 ●ケアラーへの相談窓口の開設や学習支援の実施
共助の推進に向けた仕組みづくり 800万円	●SDGsを道しるべとした「共助」の担い手となるNPO法人等の支援



## 安全で安心してくらす神奈川の実現

安全で安心してくらす「災害に強いかながわ」を実現するため、地震災害対策推進条例に基づく自助・共助の取組や中長期を見据えた減災戦略に基づく対策に取り組むとともに、近年の台風等による大規模な風水害における課題や教訓を踏まえ、「神奈川県水防災戦略」に基づき、風水害対策等を計画的に進めます。また、地域防犯力の強化や、消費者被害の未然防止と救済、県民と一体となった交通安全運動・対策等を実施することにより、犯罪や事故などのない安全で安心なまちづくりを推進します。

【予算総額1,323億7,160万円】

### 犯罪や事故などのない安全で安心なまちづくり 54億3,342万円

- 防犯カメラの設置補助
- 迷惑電話防止機能を有する機器への補助
- 交通安全施設の整備の加速化

交通安全施設整備	
3年度予算額	40.5億円
4年度予算額	50億円
増減	+9.5億円

## 子ども・子育てへの支援

すべての子どもが幸福で健やかに成長できる社会の実現に向けて、保育士など子育て支援人材の確保・育成や、保育所整備など待機児童対策の一層の推進に取り組むとともに、幼児期の教育・保育の提供体制の確保・充実等に取り組む市町村等を支援します。

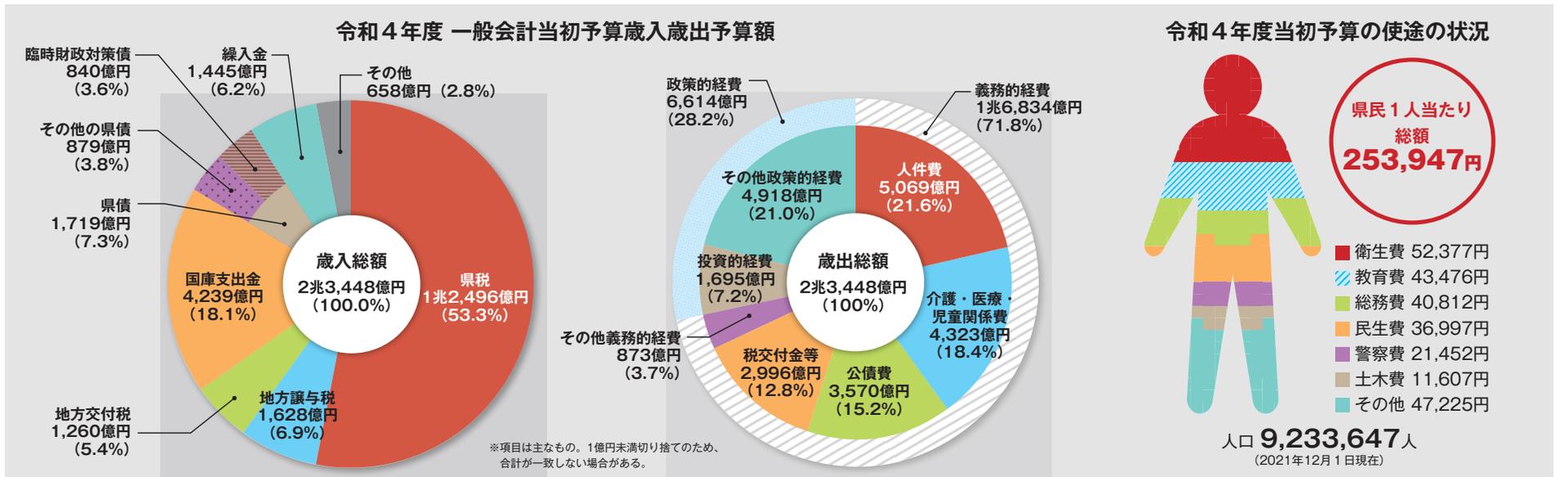
また、児童虐待、子どもの貧困、ひきこもり、いじめ等の課題に対応するため、SNSを活用した相談を実施するとともに、私立高等学校等生徒学費補助の充実を図ります。

【予算額1,494億4,865万円】

神奈川県  
令和4年度私立高等学校等に導入される新制度へ  
私立高等学校等、  
年収約700万円未満世帯 授業料実質無償化、  
非課税世帯まで 入学金実質無償化  
さらに多子世帯は年収約800万円未満世帯まで  
授業料実質無償化（予定）

令和4年度授業料補助(予定)	令和4年度入学金補助(予定)
456,000円	210,000円

※1 収入要件（年収約700万円未満）  
※2 収入要件（年収約800万円未満）



### 石川ひろのり プロフィール

1968年11月3日生まれ 横浜市出身。旅行会社、飲食業を約20年間経験。「行政とはサービス業である」との言葉に感銘を受け、37歳で衆議院議員岩國哲人事務所へ転職。その後、参議院議員公設秘書を経て、政策秘書資格を取得し参議院議員政策秘書を務める。衆議院議員 笠ひろふみ秘書を経て、2015年4月神奈川県議会議員に初当選。麻生区在住。引きこもり支援相談士。  
趣味：ジョギング（湘南国際マラソン大会6年連続出場。自己ベスト記録 3時間29分28秒） 家族：妻、子供一人  
好きな言葉：「石の上にも3年」初めて社会人になる時に父から言われ「どんなに苦しくても耐えること。そこで初めて全体が見える」という言葉を今でも忘れない。

石川ひろのりの活動報告・委員会質問など詳しくはHPまたはFacebookにてご覧いただけます。



### ボランティアスタッフ募集

石川ひろのり事務所では随時ボランティアスタッフを募集しています。広告用チラシ折り、ポスター掲示、街頭演説のお手伝いなど短時間でもかまいません。皆様のご支援とご協力をお待ちしています。▶連絡先：TEL 044-455-6611

### 石川ひろのりの活動への ご支援(個人献金)のお願い

石川ひろのりの活動にご協力賜りたくご案内させていただきます。なお、寄付は税額控除の対象となりますので、ご相談くださいようお願い申し上げます。  
▶石川裕憲後援会【郵便局】払込取扱票にて(口座番号 00200-7-52777)【銀行】三井住友銀行 新百合ヶ丘支店 普通 口座番号 6902358

石川ひろのりへの ご意見・ご質問をお待ちしております。 FAX 044-455-6614	ご意見など	お名前	TEL
		ご住所	